




ロータリーは機会の扉を開く
2020-21 年度 RI テーマ
Rotary Opens Opportunities
国際ロータリー会長
ホルガー・クナー

Weekly Bulletin

30th anniversary

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝 4-7-16
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2020-21 年度
会長：松浦正秋 副会長：竹田敏和 幹事：鈴木健夫 副幹事：望月 誠

例 会 第 1 3 9 2 回： 通常例会/小杉苑

ソング それでこそロータリー、星かげさやかに：ソングリーダー 阿井誠君

原点回帰

■ **会長挨拶** 松浦正秋君



今月のロータリーテーマは疾病予防と治療です。地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病伝播の食い止め、地域社会の医療インフラの改善、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援等が挙げられています。

新型コロナウイルスの感染拡大が収まりません。感染が始まって1年が経ちました。世界中で6800万人が感染し、150万人が命を落としています。このような状況のなか、ワクチンの投与が8日から英国で始まりました。米国のファイザーとドイツのビオンテックが共同開発しました。英国は先週、他国に先駆けてこのワクチンを承認し、まずは80歳以上の市民が対象とし、今後、数日以内に数万人が接種を受ける予定のようです。英国市民として初めてワクチン接種を受けた人は、来週91歳になる女性で「最高の誕生日プレゼントが早く届いた」と話し、今年の大半を独りで暮らさざるを得なかったが、これで家族や友人らと新年を過ごすことができると喜んでいました。このような喜びの声が世界中で聞くことができる日を待ち望みます。

日本においても第3波の感染拡大で医療崩壊の危機にあると報道されています。経済活動を最小限で維持しながら、感染を抑えるという大変難しい状況に置かれています。一日も早く日本においてもワクチンの接種が始まることを希望します。また、感染予防と経済の下支えに対して各々が今できることを確実に実行していかなければならないと感じた今週です。

■ **幹事報告** 鈴木健夫君

I Mのお願い、11月出席率、風の便りを回覧いたします。

■ **出席報告** 笠原大輔君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
46/51 90.19%	45/51 88.23%

- (1) 欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）
○内山君○大村君○早川君○瀧脇君 村松章隆君
- (2) メイクアップ者
桑原茂君（掛川） 大村和宏君 瀧脇一啓君 村松章隆君

食事準備数	食事提供数	残	累計残
49	48	1	18

パーフェクト例会数 😊😊😊😊😊😊😊😊
欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします



私にとってロータリークラブとは、信頼出来る友人を作ることが出来る場であると思います。社会に出てしまうと真の友人を作ることは大変難しくなってしまいます。そのような時に友人を作ることが出来るのがこのクラブだと思います。

次に健康についての話をしたいと思います。人生には20才、40才、60才、80才と大きな節目があるように思います。健康について考えはじめるのは40才以降になってからでしょう。人の平均寿命は男性80才、女性85才といわれています。しかし健康寿命はそれより5才ぐらい低くなります。人は誰でも長生きをしたいと願っていると思います。だいたい長いだけではなく健康であること、そして最期は苦しまないで終わりたいと考えているのではないのでしょうか。そのためには病気を早期に発見して治療をすることが必要です。早期発見のために健康診断が役に立つと思います。

次に健康診断について話をしたいと思います。健康診断はすべての病気を検査しているわけではありません。健康診断を受ける時に大切なことは、何がわかって何がわからないか、すなわちどんな病気が発見できて、どんな病気はわからないのかを考えながら結果をみるのが大切です。それによって、これから起きる可能性の高い病気を見つけ、その病気によって命を落とさないために何をしていったら良いのかを考えてゆくことが大切です。自分の親、兄弟の病気について知っておくことは大変役に立つことだと思います。

次に病気について少し話をします。色々な病気がありますが、その中でも生活習慣病といわれる高血圧、糖尿病、高脂血症等は注意が必要です。これらの病気は普段は何の症状もないので放っておくと急に重大な病気である、心筋梗塞、脳梗塞等を起こす可能性があり、それによる大きな健康障害や時には死亡する可能性もあるのです。このような病気は治療するとともに将来の病気の予防のためのリスクを管理する必要が

あります。

今、コロナウイルスによる新しい感染症が流行しています。このウイルスには、多くの人が免疫をもっていないため、どんどん広がっています。特に重症化する人が多く、治療法も確立していないため死亡する人も多くみられます。これは、感染症であり、防ぐためには人と人との接触を減らせば流行は止まりますが、なかなか難しく、しばらくは続くと思われます。私たちに出来ることは少しですが、マスクは効果があります。自分が感染しないためにマスクをする効果は50%ぐらいですが、他人にうつさない効果は70%近くあります。不織布のマスクが最も効果が高いのです。大切な人を守り感染を広げないために是非マスクをしましょう。

過去の歴史をみると大きな感染症は社会を変える力をもっているのです。私たちは今後の大きな社会構造の変化に対応してゆく必要があるかもしれません。

病気やその他の事においても、過去、現在、未来というそのつながり、過去を知り、現在を見つめ、未来を考えることが健康を守るためにも、人生においても、大切ではないかと考えます。

人は株に投資をします。私は健康に投資をすることが大切だと思います。そのためには健康に良い物を食べることです。人間の体は食べた食物によって作られているのですから。

健康を考え、気をつけて長生きをしましょう。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
12/18(金) 第1393回	会員卓話	小杉苑
12/25(金) 第1394回	お弁当配布	小杉苑
1/8(金) 第1395回	会員卓話	理事会
1/13(水) 第1396回	新年賀詞交歓会	小杉苑

■ 今週の一言

内藤浩光君



なんと言っ
ても、小学
校の修学旅
行。東京で
す。半分迄
出来た東京
タワー。感
動の国会議
事堂。かみな

りおこしの浅草。

帰り掛けに通過した、薄気味悪い鈴ヶ森。

何か感動してました。

近頃では、修禅寺の近くの旅館あさば、に行った時、ビデオカメラで、部屋の中を撮ったら、シャボン玉みたいな綺麗な、玉がファインダー越しに、いっぱい見える。カメラから眼を離すと、何も、見えない。何回やっても同じこと、神霊写真みたいで薄気味悪くて、消した。後で、その筋の専門家に聞いたら『そりゃ オーブです。いい物見ましたね。プラスですよ！！』って言う。なら消さないで、とっとけば良かったな、と思いました。

